

2018 AUTOBACS SUPER GT Round 2 FUJI GT 500km RACE

2018年5月3日(木)~5月4日(金)

決勝 レポート

110 Laps



場所: 富士スピードウェイ (静岡県) 1周 4,563 km

天候: 晴れ / コース: ドライ / 気温: 22°C / 路温: 33°C / 観客動員数: 55,000 人

無念のリタイア

2018年 SUPER GT 第2戦の決勝が富士スピードウェイ(静岡県)で行われた。この日はゴールデンウィークにふさわしい晴天の一日となった。

5月4日(金)

<決勝 110LAPS / 14:47~>

スタート直後に富士独特の長いストレートで後続車にパスされずに周回出来るかが勝敗のカギである。1周のフォーメーションラップ後、500kmレースのスタートは切られた。スタートを受け持った井口卓人は、ポジションを守りホームストレートに戻って来る。今年のBRZは明らかにストレートが速い。FIA-GT3車両勢を長いストレートで抑え、しかも徐々に離していく。トップ#55 BMWの速さには及ばないが、後続の車両を徐々に引き離す理想の展開となる。32周目にピットインし給油とタイヤ4本を替えて山内英輝に代わる。山内はピットインのタイミングで順位の入れ替わった#31 PRIUSをパスして元の順位に戻り、1分



www.rdsport.net

38秒台のタイムでトップ#55 BMW を追い上げる。しかし、順調なレース展開かと思われた55周目、突然ボンネットから白煙が上がりコース脇にストップしレースを終えてしまった。なお、GT500クラスの優勝は#23 MOTUL AUTECH GT-Rが、GT300クラスは#55 ARTA BMW M6 GT3が制した。



■本島監督 コメント



残念な結果に終わりましたが、シーズン前から色々やって来た事により、この苦手とされる富士で十分戦える BRZ になった手応えは感じます。まだまだやらなくてはいけない事はたくさんありますが、SUBARU ファンの方々に早くトップを走る BRZ を見てもらえるよう頑張ります。

■井口 卓人 コメント



濃霧の影響で、公式練習30分、20分間1回の予選になり、変則的な予選日になりました。予選では、練習走行に比べて車のバランスも良い方向に向かい、BRZ が苦手としている富士で、僅差の予選2番手を獲得する事が出来ました。決勝レースでは、2番手スタートからポジションをキープし、トップの#55からは遅れたものの、3番手にも大きく差をつける事が出来て、安定したペースで走行する事が出来ました。2ステイメント目の山内選手も好タイムを連発し、確実に表彰台を狙える位置でレースを進める事が出来ましたが、トラブルが出てリタイヤという結果になってしまいました。今大会は、予選から十分に戦える速さがありましたが、最終的にはトラブルが出てしまい、本当に悔しい結果になりました。メカニックの皆さんの努力が報われるように、ドライバーはコンマ1秒でも、1つでも順位を上げられるように頑張っていきたいと思います。

■山内 英輝 コメント



交代してから、マシンの異変を感じて無線でチームと話をしていました。トップには追いついて行けたのですが、最終的にマシントラブルでリタイヤとなりました。ゴールデンウィークともあって、沢山の方が来てくれていたのに、残念な気持ちですが、次に向けてしっかり切り替え頑張っていきたいと思います。また応援よろしくお願いたします。

決勝の詳細に関しては SUPER GTホームページ <https://supergt.net/>、
またSUBARUモータースポーツマガジン <https://www.subaru-msm.com/2018/sgt/report/>もご覧ください

2018年5月4日
SUBARU BRZ
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net